

【ソリューション紹介】

段ポ-「レ」ジオラマ

×

デジタルによる防災接点の「身近」化

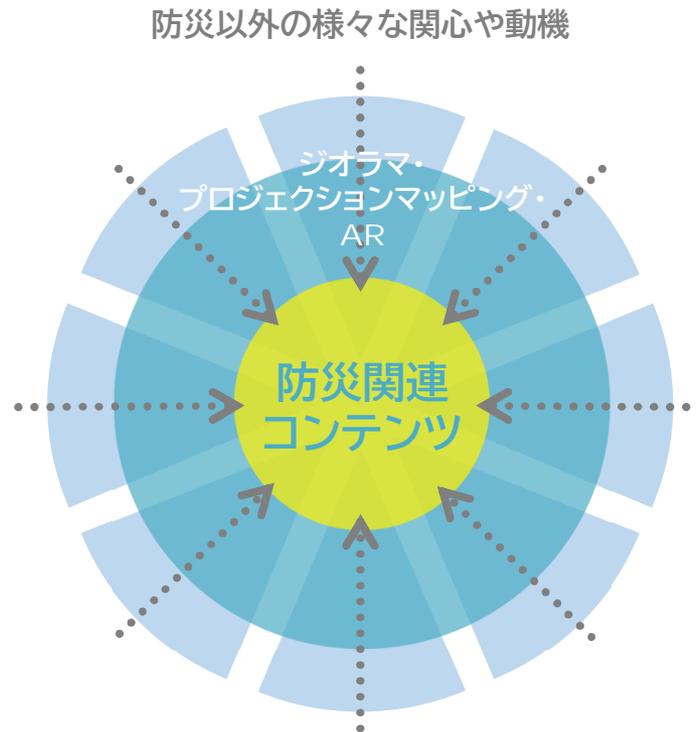


(一社) 防災ジオラマ推進ネットワーク

課題認識とソリューションの基本フレーム

一般的に多くの人にとって、
防災コンテンツに触れるための精神的・現実的ハードルは低いとは言えません。
それは「目的があって見る」ものであり、「積極的には見ない」ものであり、
“防災”が前面に立つ限り、情報はその枠内に留まってしまい、多くの人には届きません。

上記の課題を解決するため、
公共空間に設置するジオラマをコミュニケーション・プラットフォームとして、
プロジェクションマッピングやARの技術を掛け合わせることで、
防災以外の様々な関心や動機の入口から、日常の中で防災関連コンテンツに触れる機会を創出します。



“ジオラマ”というリアル
に目立つツールをプラッ
トフォームにすることも
接点強化のポイント

段ボ-ルジオラマ とは

自分たちのまちを自分たちの手で作る組立式のジオラマキットで、
防災教育以外にもさまざまなシーンで活用されています。



Webサイト www.bosai-diorama.or.jp

※キットだけでなく、完成品も製作しています

◎津波啓発動画のプロジェクトン／歴史コンテンツのAR（多賀城市）



動画リンク

<https://youtu.be/wJqxLcO9shc>

◎地域のお祭りについて、観光案内所でのプロジェクトン（諏訪大社御柱祭）



※観光PVとハザードマップを
切り替えて表示

動画リンク

<https://youtu.be/EOj4eX1Qtca>

◎名所や所要時間などを表示して3Dの観光マップに（那須岳）



ジオラマ×ARによるコンテンツ訴求のイメージ

【ジオラマの設置場所例】

公共施設／ショッピングセンター／駅 など

ジオラマにスマホをかざすと…

当該エリアの情報（静止画・動画等）が表示されます。
タップすることで関連サイトへのリンクも可能。



動画リンク(鎌倉津波シミュレーションの表示事例)
https://youtube.com/shorts/-iFz_43DNvE

一般的に関心の高い様々な情報を掲載(告知)することで、ジオラマのスキャン(結果としての防災情報閲覧)を促すことができます。

防災情報

歴史・文化
情報

観光・
おでかけ情報

各種
ルートマップ

オトク情報
などお役立ち
情報

ジオアート

など

占いや、くじ・クイズと絡めたプレゼントなど、スキャンを促すインセンティブ機能も入れ込むことが可能

宮城県多賀城市立図書館での展示事例



Contents 1

津波浸水シミュレーション動画プロジェクションマッピング
(東日本大震災時の津波浸水実績も含む)



動画リンク

<https://youtu.be/wJqxLcO9shc>

Contents 2

多賀城高校による津波伝承「まち歩き」MAP(4種)のAR



AR画像をタップすると
説明動画にリンク ⇒



Contents 3

歴史・文学コンテンツのAR
(市内の歌枕、歴史周遊ルート)



AR画像をタップすると関連サイトにリンク



Contents 4

子供向けキャラクター



くるくる回して
遊べる